

このひとをじっくり探してみますか？

第17回

茂木秋香に学び句誌『あけと』を創刊した俳人【深谷市新井】

大瓦堂明竹 たいがどう めいちく

(明治22年6月12日～昭和31年11月4日)



肖像写真(個人蔵)

大瓦堂明竹は、明治二十二年(一八九九年)六月十一日、幡羅郡明戸村字新井(現在の深谷市新井)で瓦製造業を営む通称「大瓦屋」の長男に生まれ、本名は植竹隆之とていきました。幼少の頃は絵画を好み、フランスでの絵画修行を夢見て、当時フランス語の授業が行われていた東京暁星中学校で学びました。その後、日本簿記専修学校を卒業し、フランスへの渡航を志しました。しかし、父の死去によりその志はかなわず、家業の瓦製造業を継ぎ、後に埼玉県瓦業組合連合会

長を務めました。明竹は、家業の傍ら、文墨を愛好し、俳聖茂木秋香に俳諧を学び、生涯を通して文芸を愛し、多くの作品を世に出しました。軽快な筆遣いで書かれた文字や淡彩に描かれた絵には軽妙さとユーモアが感じられます。少年時代にはフランスでの絵画修業を目指し、いったんは夢破れた明竹でしたが、文芸への情熱が消えることはなかったでしょう。

五十五歳の時、明竹は、『あけと俳句研究会』を創設し、句誌『あけと』を創刊しました。また、六十五歳のときには、俳句三百点を広く配り、俳句の振興に努めました。

一方で、明竹は明戸郵便局(現深谷新井郵便局)の設立に奔走しました。当時、明戸村新井とその隣の上敷免にあった日本煉瓦製造株式会社では、レンガの製造が盛んに行われ、にぎわいをみせていまし

た。同時に、通信や金融の重要性も高まったことから明竹が依頼を受けて大正九(一九二〇)年に明戸郵便局を開局しました。その他、戦後まで二十年間村会議員を務めるなど、地域の発展に大きく貢献しました。

昭和三十一年(一九五六年)十一月四日に亡くなった明竹は、公職、文化を通じて郷土の発展に大きく貢献した功績をたたえられ、従六位勲六等瑞宝章を賜りました。昭和三十三年(一九五八年)には、明竹が創設した『あけと俳句研究会』の会員らにより、句誌『あけと』百号記念『あしあと』が刊行され、多くの人に憶はれました。



『裸一貫の 我れに再起の 夏来た里と 書いた明竹六十四歳の時の作品。作品には、鯉の絵が描かれ、軽妙さとユーモアあふれる明竹の特徴が表れています(個人蔵)』

用語の手引き

『茂木秋香』

文久3(1863)年、現在の深谷市矢島生まれ。全国各地を周遊し、当時一流といわれた俳友と交歓し、大宗匠の地位に登り詰めました。源勝院(岡部地内)や寄居町玉淀堤には、秋香のために建てられた句碑が残る(詳しくは広報ふかや平成27年10月号8ページを参照)。

郵便局の開局

現在は全国的な組織となっている郵便局も発足当初は、数も少なく、整備に多額の費用が掛かるため、政府は地元の名士に設立協力を依頼していた。明竹も明戸郵便局設立のために奔走し、日本煉瓦製造株式会社でにぎわいをみせる深谷を支えた。

市長の深い話

深谷市長 小島 進



市内外への魅力発信

深谷市では市内外問わず、多くの方々に深谷の魅力を知ってもらうために、さまざまな取り組みを行っています。

そのひとつとして、昨年度は、さと納税のお礼品をリニューアルし、お礼品を国民投票で決定すること、深谷市の魅力を全国各地の方々に感じてもらうこと、そして、昨年度寄せられたお礼品の納税の総額は約1億7千万円となり、県内では鶴ヶ島市に次いで2番目となりました。

今年度は国民投票ではなく、要件に該当する全ての市内事業者が、お礼品を出品できます。併せ

て商品開発力の向上を目指し、深谷市ふるさと納税お礼品魅力向上プログラム「深谷R&Sラボ」として、セミナーや商品の考案を行うことで、新しい深谷の魅力の発信につなげていきたいと考えています。

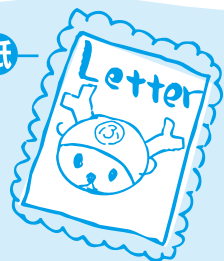
また、今年度の取り組みとして、FMラジオ「NACK5」での情報発信を行っています。

4月から、タレントの池田愛さんがパーソナリティを務めるラジオ番組「monaka」の中で、深谷市の魅力をわかりやすく、そして楽しくお届けする「5分てわかるまるっと深谷」というコーナーを放送し、季節のイベントや市政情報などさまざまな情報をお届けしていますので、ぜひお聴きください。毎週月曜日、12月まで生放送で放送しています。

また、番組では皆さんの知っている深谷の情報を番組ホームページで募集しています。

市民の皆さんが知っている「深谷の」とっておきの情報」を市外のかたや近県のかたに向けて発信していくといういい機会です。皆さんも、お気軽に情報をお寄せください。

ありがとうの手紙



最優秀賞 一般の部

大雪出産を助けてくれた皆さんへ

緑台 村田朗代さん

我が家の息子は、百二十年に一度といわれた大雪の日に生まれました。

雪の中、車を出すため必死で雪かきを続けてくれた家族。深い雪と格闘しつつ励まし運んでくれた救急隊の皆さん。妊婦搬送中と聞き救急車を一緒に押してくれた、立ち往生中の車の方。直接お礼を言えない方もいらっしゃるかもしれませんが、ありがとうございました。

たくさんの方に助けていただき生まれてきた日のことを、いつか大きくなった息子にも伝えたいと思います。

みんなの声BOX

Q ゲリラ豪雨や台風による水害が心配です。災害時における情報の入手方法を教えてください。

A 次のような各種情報入手方法があります。

防災行政無線、テレホンサービス(0180-99-4431)、NHK総合テレビおよびテレビ埼玉のデータ放送、市ホームページ、市メール配信サービス(市ホームページから登録可能)、ツイッター(市公式アカウント=Fukaya_City)、気象庁ホームページ、緊急速報メール(避難勧告の発令など緊急度の非常に高い情報を、市内に存在する携帯電話(一部非対応の機種あり)に一斉送信します)

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。

※ラジオ番組「monaka」は、毎週月曜日の午前9時～午後9時40分に放送されています。5分てわかるまるっと深谷」は、月曜日の午前10時40分から放送しています。なお、8月6日(月)の番組はリオデジャネイロオリンピックの放送により休止です。